

第 16 回 大橋川改修事業に係る環境モニタリング協議会 議事録

1. 日 時 令和4年12月8日（木）14：00～16：00

2. 場 所 島根県民会館 2F 多目的第1・2ホール

3. 議事録

議事	委員からの質問・意見・指摘	事務局回答・対応方針
1. 「大橋川改修事業に係る環境モニタリング協議会」規約	—	—
2. 広域モニタリング・環境監視について	(倉田委員質問) ・ 斐伊川放水路の運用に伴い宍道湖への流入量が減少したことによる宍道湖塩分への影響について検討がなされているか。	(事務局回答) ・ 斐伊川放水路の運用による宍道湖の塩分への影響についての検討は行っていない。 ・ 放水路への分流量が宍道湖容量に対してどの程度寄与するのか検討する必要があると考える。
	(倉田委員質問) ・ 大橋川の連続観測データはリアルタイムに公表していないのか。	(事務局回答) ・ 大橋川中流のデータについては、簡易水位計のため、リアルタイムで公表できないが、そのほかの観測所のデータは公表している。
	(北村委員意見) ・ 採水分析調査の塩分、および自動観測の水位が現状変化幅を超過した原因の考察について、美保関水位は8月以降現状変化幅内であったが H6～H27 の期間最高水位に近く、その影響も出ているものとする。	(事務局回答) ・ 指摘のとおりである。
	(中村委員意見) ・ ヤマトシジミとホトトギスガイとの関係を考察する際、季節変化等両種の生態を考慮する必要がある。	(事務局回答) ・ 承知した。
	(中村委員意見) ・ 宍道湖の連続観測地点が1点のみであり、可能であれば、宍道湖の調査地点を増やし中海とのバランスがとれるように検討してほしい。	(事務局回答) ・ 総合的な観点から必要性等について検討する。

議事	委員からの質問・指摘・質問	事務局回答・対応方針
2. 広域モニタリング・環境監視について	<p>(倉田委員質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然的変動で現状変化幅を超える状況が継続している中、今後、大橋川掘削を開始した際に自然的な影響と工事による影響をどのように区分するのか。 	<p>(事務局回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状変化幅ではない別の評価軸についても、今後、委員からの意見も伺いながら検討する。
	<p>(道上委員長意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本海の水位変化の影響が非常に大きいと考えられ、長期的な日本海の水位のトレンドを踏まえた検討が必要である。気象庁等と連携し検討を進める必要がある。 	<p>(事務局回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次影響項目について長期的な傾向を捉えることが大事であると考え。今後、検討の視点や評価の手段等について検討する。
	<p>(細井委員質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年は風速10m/s以上の年合計時間数が最大値に近かったが、水質への影響はあったのか。同じく風速10m/s以上の年合計時間数が多い平成17年の状況と比べると良い。 	<p>(事務局回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風速と水質との関係については整理していないが、今後必要があれば検討する。 ・また、年間通じて風が強いのか、一時的な影響か確認する。
	<p>(佐藤委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にホトトギスガイは鳥類に多く捕食されているため、ヤマトシジミ・ホトトギスガイの生息分布境界への影響もあると考えられる。 	<p>(事務局回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承知した。
	<p>(梶川委員質問)※欠席委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美保関の水位が上昇し続けているが、当初の河川計画や設計には影響しないのか。 	<p>(事務局回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美保関水位について引き続き監視を継続し、気候変動の影響について今後データの検証を行う。
3. 工事モニタリングについて	<p>(國井委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大橋川河口は日本で有数のオオクグ生育地であり、移植についても注視していたが、これまでの移植は成功していると考え。 ・オオクグの生育環境は限られており、水位変動に弱い面があるため、今後の概略調査で移植地での生育状況を見ていただきたい。 ・これまで移植適地とされていた場所が、水位の上昇によって移植不適となる場合もあるため留意が必要である。 	<p>(事務局回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承知した。